



全国一般評議会

闘争情報

No.246

2013. 6. 6

東京都千代田区六番町 1

TEL 03-3263-0441

FAX03-5210-7422-5

つながろうフクシマ！

6. 2 さよなら原発大集会・デモ・国会包囲行動

—脱原発を訴え、さよなら原発大集会に多くの仲間が結集—

2011年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第1原発事故から2年3ヵ月を迎えようとする6月2日、3つの市民団体を中心となって東京・芝公園と明治公園の2ヵ所で脱原発の集会が開催された。自治労は、芝公園に本部の旗を構え関東を中心とした県本部・単組が結集。全国一般からも関東の地方労組を中心にして、遠くは岡山地方労組の青年女性部が夜行バスに乗って集会にかけつけるなどし、政府の再稼働の動きに対し、抗議の声をあげた。

芝公園の集会では、ノーベル賞作家の大江健三郎さん、作家の落合恵子さん、ルポライター鎌田慧さんなどの著名人や福島や浜岡原発のある静岡、東海村原発のある茨城など、原発立地県からの訴えが行われた。その中で、落合恵子さんからは、「昨年の総選挙で棄権した人を呼び戻すことが大事……。それができれば流れは変わる」と言われるなど、脱原発と96条改憲の動きをストップさせようという想いを集会参加者は1つにし、7月の参議院選挙では脱原発を求める政党や政治家の当選を勝ち取ることを誓い合った。



＜芝公園での集会・自治労の旗のもとに結集＞

—警官隊に囲まれながら、国会包囲し、脱原発を訴える—



集会後は、参加者のみんなで「原発はいらない」「原発を即時廃止しろ！」「政府は責任を取れ」「再稼働を許すな」と声をあげ、シュプレヒコールをするなど、芝公園から日比谷公園までのデモ行進を行った。

デモ行進の終了後の夕刻からは、2ヵ所の集会参加者に加え、新たな参加者も加わって約1.2キロにわたって国会議事堂を取り囲み、手をつないで「反原発国会包囲」を行った。国会包囲のいくつかの場所で、それぞれ集会被催され、そこでは民主、社民、生活、みどりの風、共産など各政党の国会議員や原発立地県の代表者らが

次々とマイクを握り、「再稼働の動きを止めよう」と訴えがされた。

国会包囲の取り組みは、19時で終了し、参加者はそれぞれの地に戻って脱原発の運動を強めてくことを確認し、解散した。主催者発表では、一連の行動の参加者は8万5千人と公表がされた。